

## 【12】卓球競技

### 1 期 日 2026年8月29日(土)～30日(日) 2日間

種 別	8月29日(土)	8月30日(日)
成年男子	リーグ戦2試合 13:00～	リーグ戦3試合 9:00～
成年女子		
少年女子		

### 2 会 場 野洲市総合体育館

〒520-2351 滋賀県野洲市富波甲 1339 TEL 077-587-3477

(JR野洲駅下車徒歩約30分 名神高速道路栗東ICより車で20分)

### 3 種別及び参加人員

種 別	本大会出場府県数	監 督	選 手	参加府県数	小 計	合 計
成年男子	2	1	3	6	24	72
成年女子	4	1	3	6	24	
少年女子	2	1	3	6	24	

### 4 競技上の規定及び方法

(1) 競技規則は、現行の日本卓球ルールによる。(11本5ゲームスマッチ タイムアウト制採用)

(2) 各府県総当たりリーグ戦による。

(3) 試合方法

各種目ともに3名の選手からなる。世界選手権方式(5シングルス)で試合を行う。

但し外国籍選手はCまたはZのみに出場できるものとする。

	1	2	3	4	5
A B Cチーム	A	B	C	A	B
X Y Zチーム	X	Y	Z	Y	X

(4) 使用球は公益財団法人日本卓球協会指定球 40mm ホワイト・プラスチックとする。

(5) 競技服装は、所属するチームの名称・マークのあるものは使用できない。

但しユニフォーム、ゼッケン等は近畿ブロックの申し合わせにより適用外とする。

(6) リーグ戦については、成年男子・少年女子は第78回、成年女子は特別国民体育大会の成績に基づき、試合順序は競技プログラム記載の競技日程のとおり行う。

### 5 参加資格・所属府県及び選手の年齢基準

#### ① 参加資格

(ア) 日本国籍を有する者であることとするが、監督及び選手のうち、次の者については日本国籍を有しない者であっても成年又は少年の種別に参加することができる。

(1) 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち永住者。

(2) 学校教育法第1条に定める学校に在籍する学生及び生徒。但し出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、就学生(主に高校生)及び家族滞在(中学3年生)については、大会実施要項が定める参加申込締切時に1年以上在籍していること。

また、留学生(主に大学生)については、参加できない。

(3) 参加しようとする当該以前に前号(2)の規定に該当していた者。

(イ) 各競技の選手及び監督は、所属府県の当該競技団体長とスポーツ協会が代表として認め、選抜した者であること。

(ウ) 第78回大会又は第79回大会(都道府県大会及びブロック大会を含む)において選手及び監督の資格で参加した者は、次の場合を除き、第78回大会又は第79回大会と異なる府県から参加することはできない。

(1) 2025年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者

(2) 結婚及び離婚に係る者

(3) ふるさと選手制度を活用する者(成年種別:「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。)

- (4) 一家転住に係る者（少年種別：「一家転住」に伴う特例措置の考え方による。）
- (5) JOC エリートアカデミーに在籍する場合（少年種別：別記2「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」による。）
- (エ) 選手及び監督の兼任は同一種目に限る。
- (オ) 前記のほか、選手については次のとおりとする。
  - (1) 参加選手は冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。
  - (2) 回数を同じくする大会において、異なる府県から参加することはできない。
  - (3) 健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。
  - (4) ドーピング・コントロール検査対象に選定された場合は検査を受けなければならない。
- (カ) 監督は以下の何れかの有資格者とする。また同時に、公認審判員以上の審判員資格を有していること。
  - (1) 公益財団法人日本スポーツ協会及び公益財団法人日本卓球協会認定・公認卓球コーチ4資格を有する者
  - (2) 公益財団法人日本スポーツ協会及び公益財団法人日本卓球協会認定・公認卓球コーチ3資格を有する者
  - (3) 公益財団法人日本スポーツ協会及び公益財団法人日本卓球協会認定・公認卓球コーチ2資格を有する者

## ② 所属府県

所属府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが所属する府県から選択することができる。

### 〈成年種別〉

- (ア) 居住地を示す現住所（現住所とは住民登録がなされ、日常生活をしている所を指す。）
  - (イ) 勤務地
  - (ウ) ふるさと（国民スポーツ大会ふるさと選手制度による。）
- （注）「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。
- ※大学生の場合にあつては、居住地を示す現住所またはふるさとの何れかを選ぶことができる。  
但し、ふるさとの場合「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。

### 〈少年種別〉

- (ア) 居住地を示す現住所（現住所とは住民登録がなされ、日常生活をしている所を指す。）
  - (イ) 学校教育法第1条に規定する学校の所在地
  - (ウ) 勤務地
  - (エ) 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」に定める小学校所在地。
- ※上記に属する府県のうち、「居住地を示す現住所」「勤務地」「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」の何れかから参加する場合は2026年4月30日以前から本大会終了時（2026年10月15日）まで、引き続き当該地にそれぞれ居住、勤務または通学していなければならない。但し、次の者はこの限りではない。

### 〈成年種別〉

- (ア) 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加の特例措置」の適用を受ける者
- (イ) 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加の特例措置」の適用を受ける者

### 〈少年種別〉

- (ア) 「一家転住」した場合
- (イ) 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- (ウ) 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加の特例措置」の適用を受ける者

## ③ 選手の年齢基準

- (ア) 成年種別に参加する者は、2008年4月1日以前に生まれた者とする。
  - (イ) 少年種別に参加する者は、2008年4月2日から2012年4月1日までの間に生まれた者とする。（中学3年生を含む。）
- ④ 前記の各事項に疑義のあるときは、公益財団法人日本スポーツ協会及び当該競技団体が調査・審議の上、公益財団法人日本スポーツ協会が可否を決定する。

## 6 府県代表選手の選考について

- (1) 府県大会等に参加し、これを通過した者であること。

但し、事情により府県大会を実施できない場合、あるいは府県大会に参加できない場合には、下記(ア)(イ)の選考方法が認められる。

尚、やむを得ない事情により府県大会を実施できない場合は事前にその事情について公益財団法人日本卓球協会と協議し、了承を得ておくこと。（ここで、府県大会等とは国スポ予選会、府県選手権、その他予め指定した競技会、府県内ランキングなどを指す。）また、選手が府県大会等に参加できない場合とは具体的にどのような場合のことを指すのか、事前に公益財団法人日本卓球協会の了承を得た上で、周知すること。（ここで「参加できない場合」とは具体的に全国大会出場、日本リーグ出場、学生リーグ出場、海外遠征、ナショナルチーム強化合宿参加などをいう。）

(ア) 選考基準を事前に周知徹底しておくことを条件に、どの選手をどのような手順で代表とするかについて、代表選手選考方法は府県に任される。

(イ) ブロック大会を実施する種別で、当該府県がブロック大会を勝ち抜いた場合、ブロック大会に実際参加した者に変えて、本大会には他の者を参加させることができるが、この場合その者が当該府県大会の同一種目に「参加」していることを条件とする。

尚、ここでいう「参加」には「当該府県が予め公益財団法人日本卓球協会に対して了承を得た選手選考方法により選出した者」の意味を含むものとする。

(ウ) トップアスリートの特例措置を別途定める。

(エ) JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置を別途定める。

(2) 大会参加申込選手が当該府県の予選会に参加し、これを通過した者であることを証する競技記録の記載されたプログラムを大会参加申込書に添付すること。

尚、府県予選会の実施ができず、推薦で選手を代表に選んだ場合、又は府県予選会に参加しなかった者を推薦で代表に選んだ場合、このことに関する公益財団法人日本卓球協会の承認文書を大会申込書に添付すること。

※国民スポーツ大会予選会免除対象大会

公益財団法人日本スポーツ協会と公益財団法人日本卓球協会が認めた予選会免除大会

- ・世界卓球選手権大会
- ・アジア競技大会 卓球競技
- ・FISU ワールドユニバーシティゲームズ
- ・世界ユース卓球選手権大会
- ・アジアユース卓球選手権大会
- ・日韓中ジュニア交流競技会（第34回）

## 7 参加上の注意

- (1) 申し込み締め切り後の変更は認めない。但し疾病、事故等の特別な場合には所定の文書により申し出を受け、審査の上、決定する。
- (2) 変更の申し出は監督会議までとし、参加申込書に記載された予備登録選手に限る。

## 8 開始式

日 時 2026年8月29日（土）12時30分～12時50分  
会 場 野洲市総合体育館

## 9 監督会議

日 時 2026年8月29日（土）11時00分～  
会 場 野洲市総合体育館 会議室

## ※国民スポーツ大会ふるさと選手制度

『ふるさと』とは、卒業小学校・中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。但し、大学生の場合にあっては、居住地を示す現住所又はふるさとのいずれかを選ぶことができる。

- ①ふるさと選手制度を活用し、参加を希望する選手は、あらかじめ所定の方法により「ふるさと登録」をしなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- ②ふるさと選手制度の活用は、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。

### 別記1【トップアスリートの大会参加資格の特例措置】

我が国の競技力向上を支援する観点により、一定の競技力を有する選手に対して「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を定める。

- 1) 本特例の対象となる選手は下記の条件のいずれかを満たす者とする。
  - (i) 大会開催の直近に開催されたオリンピック競技大会に参加した者。
  - (ii) 大会開催年の4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、公益財団法人日本卓球協会が本特例の対象として認めた者。
    - (a) JOC オリンピック強化指定選手
    - (b) 中央競技団体が定めた強化指定選手

\*対象者につきましては、今後、公益財団法人日本スポーツ協会と調整・決定させていただきます。

#### 2) 特例の内容

##### (i) 予選会の免除

本特例の対象となる選手は、府県予選会及びブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただしブロック大会実施競技種目・標りにおいては、当該府県代表選手又は、チームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

### 別記2【JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置】

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、開催基準要項細則第3項〔本則第8項第1号及び第10項第4号(参加資格及び、年齢基準等)〕及び「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、下記2～4の特例を適用する。

#### 1. 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーを修了した者または同アカデミーに在籍する者

#### 2. 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、開催基準要項細則第3項-(1)-(2) -②に定める「(i) 居住地を示す現住所」、「(ii) 学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「(iii) 勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

#### 3. 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手は、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

#### 4. 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会(都道府県大会を含む)と異なる都道府県から参加する場合、開催基準要項細則第3項-(1)-(1) -③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手については、開催基準要項細則第3項-(1)-(1) -③(国内移動選手の制限)の規定に従い取り扱うものとする。

#### 5. その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容がJOCエリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。